

【I コリント人への手紙 8章】  
「知識は人を高ぶらせ、愛は人の徳を建てます。」  
(I コリント8:1)



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:ダニエル大衛

# SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2012.2.12 No.670

今年のみ言葉 歴代誌Ⅱ 20:22

我らが喜びの声、賛美の声をあげ始めたとき、  
主は伏兵を設けて～彼らは打ち負かされた。

なぜなら、神によって生まれた者はみな、世に勝つからです。  
私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。

Iヨハネ5:4

この章は、偶像への供え物について語られています。当時の食肉は、異教の神殿で供え物として捧げられた肉を売っていましたが、偶像の霊に犯されてしまうと神経質になっている人もいたのです。一方、偶像などはない、神はお一人なので、そんなことを恐れることはないという人もいました。

6節には、「私たちには父なる唯一の神がおられるだけで、全てのものはこの神から出ており、私たちもこの神のために存在しているのです。～」とあります。神様はそれを食べようが食べまいが、気にはかけておられないのです。私たちが神に近づくのは、食物ではないからです。けれどもすべての人がその知識をもっているのではないので、彼らにつまずきを与えるなら、パウロは肉を食べないと言っています。それは、愛から出たものです。



## 【今回の殉教聖会で】

「人若し 我に従はんと欲せば 己を捨て十字架をとりて 我に従ふべし」

マルコ伝8章34節

ルドビゴ茨木が西坂の丘に来て、「私のかかります十字架はどれですか？」と聞きます。はっきり**自分の十字架を受け取った**ということ、そして、十字架につけられて、アントニオと**賛美を歌った**ということ、呪いと恨み悲しみの死刑場が、一変して天国に変えられました！そして、その賛美をバックにパウロ三木は、**メッセージを語った**ということ “信じる” だけならこのように殉教することはなかったかもしれませんが、彼らは死ぬまで神の言葉を、赦しのメッセージを語ったから殉教していったということ。命を使い尽くして宣教にきた宣教師たち！神が語られた世界宣教はお願いでも、おすすめでない、命令です！と語られたことが印象的でした。

また、パウロ牧師は、神の言葉に聞き従った結果この26聖人のレリーフのところに来た事、26聖人の歩みが、キリスト教の歩みの原点であること、また私たちも、その歩みについていくことを語られ、神に聞き従うことの大切さを語られました。**聞き従った時に弱い私達でもなんでも出来ること、また感謝という鍵**を使って行くなれば勝利が与えられ、神のみわざにあずかっていくと語られました。

415年前に流された血と涙と祈り、また多くの国々で祈られている日本の救いのために、後の雨のリバイバルがやってきます。私たちは、さらに感謝し、聞き従って大宣教命令に応答するように！と主は語られています。

また、今回の殉教ツアーは、少人数だったからこそ聞けたこぼれ話にも恵みがあり、毎年ここにきて祈る意味を改めて教えられました。今までのツアーと違ったのは、資料館の館長の説明があり、26聖人が全く違う国、身分環境の中で育ってきたにもかかわらず、「主を愛する」という一点で一つにされた話など、恵みに満ちていました。

イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「**私には天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。それゆえあなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして父・子・聖霊のみ名によってバプテスマをさづけ、また私があなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ、私は世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいます。**」マタイ28:18～20

\* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。  
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。

2月12日 東京カリスマ聖会  
全国ゴスペルグループコンテスト関東予選  
白馬に出場するチームはどこか?  
激戦の関東予選 優勝候補が激突! カウントダウン1日前

2012年2月16日(木)~18日(土)  
白馬スネルゴイキャンプ申し込み  
贈物の実践集中講座 動画映像のコンテスト スキー・スノーボード

主の十字架クリスチャンセンター (TLCCC)  
The Lord's Cross Christian Center  
<http://astone-blog.jp/tlccfrh/>